

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）全日制

1 学校のミッション

- 全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 国内外を問わず広く社会に貢献する真のトップリーダーに求められる、豊かな社会性や規範意識、他者を思いやる心と冷静な判断力などの資質・能力の涵養に取り組む。
- 急激に変化する時代の中で、自ら解決すべき課題を見だし、主体的に考え、多様な他者と協働して納得解を生み出すことなどが求められることを踏まえ、生徒の探究力、論理的思考力、表現力などの資質・能力を育むよう、より深く広い学びの在り方を追究するなど、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善の実施等、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 1 常に安全・安心で快適に学べる教育環境の整備に取り組む。
- 2 県立高校改革実施計画に基づく『質の高い教育の充実』を目指す。
 - 生徒の心に火をつける授業を目指し、自らが主体的に学ぶ姿勢を育む。
 - 生徒支援・教育相談体制のより一層の充実を図る。
- 3 県立高校改革実施計画に基づく『学校経営力の向上』を目指す。
 - 地域に開かれ信頼される学校づくりを目指す。
 - 本校の特色ある教育活動について広く情報を発信する。
- 4 学力向上進学重点校として充実したカリキュラムマネジメントに努める。
 - 生徒の進路希望の実現を目指す。
 - 生徒に対してきめ細かい学習支援・キャリア支援等を的確に行う体制作りに努める。
 - 生徒の探究力、論理的思考力、表現力をより一層高めるための授業改善に取り組む。
 - 総合的な探究の時間での探究活動の取組み等を通じて、生徒一人ひとりに教科横断的な高い学力と豊かな知恵や経験を身につけさせる。
 - グローバル化に対応した教育課程の実施に努める。
- 5 事故・不祥事ゼロに向けた取組みの重点目標を「成績処理・入学者選抜業務の適切な処理」とし、学校への信頼を高める。

3 計画作成時点での課題

- 学力向上進学重点校として、生徒の進路実現に向けた全校的な支援体制の構築
- 自己肯定感の低い生徒へのカウンセリング機能充実のための組織的な取組
- 生徒を支援する教員の業務量と働き方改革の両立

4 4年間の目標と主な方策（令和2年度～令和5年度）

視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1 教育課程・学習指導	(1) 学力向上進学重点校として、生徒が希望する進路実現のための教育課程を編成する。 (2) 授業の質の向上と量の確保に努め、生徒の一層の学力の向上を図る。 (3) グローバル化が進展する社会に求められる資質・能力を育成する。 (4) 「生徒の心に火をつける授業」を追究し、質の高い教育を充実させるため不断の授業改善を行う。	(1) 生徒が希望する進路実現に向けたより良い教育課程を追究するとともに、すべての教科で「深い学び」となるようカリキュラムマネジメントに努める。 (2) 「翠嵐スタンダード」に基づき計画的な授業進捗と、朝学習、長期休業中の講習、土曜講習を活用して、既習事項の早期定着と応用力の強化を図る。 (3) 「グローバル探究」、修学旅行、姉妹校交流、講演会の実施等を通して、生徒が自ら探究し、考察する力の涵養や、思考力、表現力を身につけられるよう、指導体制の充実を図る。 (4) 校内授業研究及び公開研究授業、「生徒による授業評価等」を通して授業改善を推進する。また授業時間数の確保のため行事の精選に取り組む。
2 生徒指導・支援	(1) 豊かな社会性や規範意識、他者を思いやる心と冷静な判断力など真のトップリーダーに求められる資質と能力の涵養を図る。 (2) 基本的生活習慣の確立を図る。 (3) さまざまな教育活動を支える教育相談体制の充実を図る。	(1) 授業や部活動、行事等主体的な学習に取り組む中で互いに高めあう社会性を育む。 (2) 遅刻指導、服装指導、挨拶の励行など具体的な項目を明確にした指導を行う。 (3) 生徒の状況に応じ、担任、教育相談コーディネーターや養護教諭、SCやSSWとの連携を密にして、教育相談を行い、生徒のセーフティーネット体制を整える。
3 進路指導・支援	(1) 学力向上進学重点校として、生徒の高い進路希望を実現させるための支援体制を確立する。 (2) 大学卒業後の進路も見すえたキャリア教育を推進する。	(1) ガイダンスG、学年、担任が一体となり組織的な進路指導に取り組む。「翠嵐スタンダード」に基づき、生徒の進路実現のための学習支援体制・状況の進捗管理を行う。 (2) 「校外学習」「学部学科研究」「分野別職業講話」などを通し、文理選択や学部学科選択、進路について考えさせ、充実したキャリア教育を実施する。
4 地域等との協働	本校の教育活動や特色ある取組について、情報を発信し、地域に開かれ、信頼される学校づくりを目指す。	・学校HPの内容を充実させ最新の情報を発信する。また「翠嵐掲示板」やメール配信システムの活用を通して、迅速で正確な情報を発信する。 ・「学校説明会」「学校見学会」などの機会を通して、学校の取組や生徒の活動等を発信する。 ・地域清掃などを通し、生徒に地域貢献の大切さを理解させる。
5 学校管理・学校運営	(1) 事故・不祥事防止に向けた取組を徹底する。 (2) 防災意識の向上を図る。 (3) 耐震工事に伴う改修期間においても生徒の安全・安心な学習環境を整備する。 (4) 教員が子どもたちと向き合う時間を確保するために、教員の働き方改革を推進する。	(1) 入学者選抜や成績処理など個人情報の管理の徹底や適切な会計処理を常に実践する。 (2) 避難訓練などを通して、防災意識を向上させる。 (3) 授業の移動動線の安全確保や部活動の生徒の教育活動に支障のないよう計画する。 (4) 年間行事の精選や業務内容を見直し、業務のスリム化を図る。